

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 24 年 10 月 11 日 (木)

## ◎項 目

- 1 平成 25 年度当初予算編成方針について【総務部】
- 2 平成 25 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】
- 3 高知県の経済概況について【総務部】
- 4 12月の広報計画について【総務部】
- 5 平成 24 年度夏季の節電実績に関する取り組み結果について【林業振興・環境部】

## ◎内容

### 1 平成 25 年度当初予算編成方針について【総務部】

総務部から、平成 25 年度当初予算編成方針について説明を行った。

#### 【概要】

##### ○予算編成のポイント

- ・「課題解決先進枠」の創設

各部局の裁量的経費については、経常的・投資的経費とも、基本的に前年度予算額を限度とするが、課題解決先進県を目指した新たな事業への重点的な配分を実施するために創設。創意工夫による事業の組み替え・バージョンアップを促進するため、事業の見直し等により前年度から削減した額の 1.5 倍（一般財源ベース）まで要求可能。

- ・南海トラフ巨大地震対策の推進

国や県による新たな想定を踏まえ、県民の皆さまの命を守る対策を着実に実施。発災時の対応のみならず、応急・復旧・復興時の対策も含めた更なる推進。

- ・県経済や雇用への配慮と財政の健全化の両立を推進

国の経済対策により積み立てられた基金事業終了後も、産業振興計画の強力な推進や日本一の健康長寿県づくりの着実な実行などに必要な事業を継続。

- ・国の動向の把握と県予算への反映

国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

### 2 平成 25 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】

総務部から、平成 25 年度知事部局組織・定数の改正方針について説明を行った。

#### 【概要】

- ・平成 25 年度は、第 2 期産業振興計画の取り組みの更なるバージョンアップや国の新想定を踏まえた南海トラフ巨大地震対策の加速など、緊急性・重要性の高い課題への対応に加え、東北被災地への職員派遣等のマンパワーも必要となることから、行政改革プランの削減ペースを緩和して、知事部局全体で 20 人程度の削減とする。

(H24.10.1 現在 3,391 人 → H27 年度 3,300 人 = 単年度あたり△30 人 → △20 人とする。)

- ・喫緊の行政課題に対応する人員を確保するためには、さらなるスクラップ&ビルドの徹底が必要であり、基本的に、まずは各部局内でスリム化を図ることを願います。
- ・年金支給開始年齢の引き上げに伴い、平成 26 年度から再任用が義務化されることを見据えて、これまで実績の無かった短時間勤務を含め、積極的に再任用を行う。

### 3 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、高知県の経済概況（7－8月分）について説明を行った。

#### 【概要】

##### <基調判断>

高知県の景気は、緩やかに持ち直しているものの、一部に弱めの動きがみられ、改善テンポが鈍化している。（前月と同じ判断）

##### <分野別の動向>

消費：個人消費は、自動車販売を中心に底堅く推移しているものの、天候不順の影響も加わり、一部に弱めの動きが見られている。

観光は前年を下回っているが、博覧会前の平成21年と比べると増加している。

投資：住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は2ヶ月ぶりにプラス。公共工事は単月、累計とも前年を上回っている。

生産：製造業の生産は、自動車関連や復興関連需要等を背景とした一般機械、電気機械などが増え全体としてプラスとなったものの、海外経済の減速や為替円高の影響が長引く中で、横這い圏内の動きとなっている。

雇用・所得：景気の改善テンポが緩やかなもとの、横ばい圏内の動きとなっている。

物価：前月比はプラスとなるも、前年比ゼロ%近傍で推移している。

金融・倒産：貸出は、企業の資金需要が低調であるほか、個人向け住宅ローンも減少しているため、前年割れの状態が続いている。貸出約定平均金利（銀行）は、低下基調を辿っている。企業倒産は、件数、負債金額とも、低水準で推移している。

### 4 12月の広報計画について【総務部】

総務部から、12月の広報計画（案）について説明を行った。

#### 【概要】

##### ・主要な広報内容

○さんSUN高知：インフラ整備、健康長寿県構想、高知県功労者表彰・高知県文化賞

○特別番組：南海地震対策、教育改革

○おはようこうち：インフラ整備、南海地震対策、健康長寿県構想、教育改革

○ラジオ番組：人権啓発の取組、健康長寿県構想、インフラ整備、リョーマの休日、中山間対策

○県民ニュース：産業振興計画、健康長寿県構想、インフラ整備、年末年始の交通事故・火災予防運動

### 5 平成24年度夏季の節電実績に関する取り組み結果について【林業振興・環境部】

林業振興・環境部から、平成24年度夏季の節電実績に関する取り組み結果について説明を行った。

#### 【概要】

##### ○使用最大電力の抑制（ピークカット）対策

数値目標：平成22年度夏季（7/2～9/7）のピークと比べて10%削減

実績：全施設の平均値は16.5%、うち10%の目標達成施設は89施設中76施設。

##### ○使用電力量の削減対策

数値目標：平成22年度夏季（7月～9月）の総電力使用量に対して7%削減

実績：全施設の平均値は12.7%、うち7%の目標達成施設は89施設中72施設。

○平成24年度ウォームビズの実施期間：11月1日（木）から3月31日（日）まで。